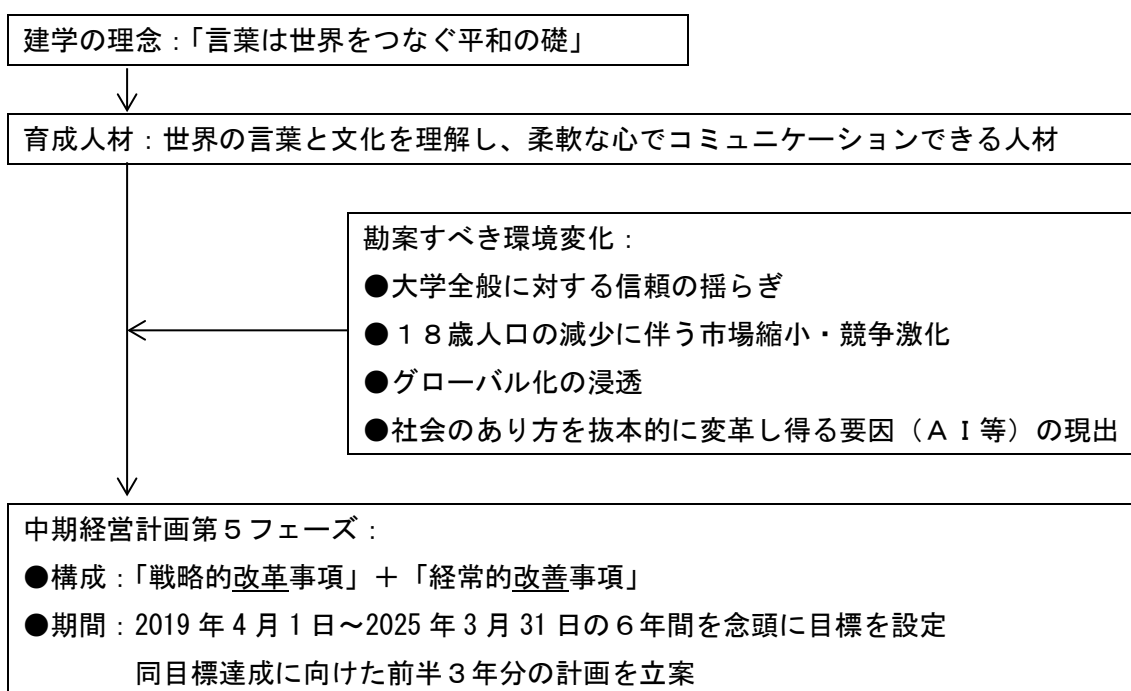


中期経営計画第5フェーズ

神 田 外 語 大 学



< I . 戦略的改革事項 >

1. 教育改革＝「教養教育」・「キャリア教育」の充実・強化

～これからの時代を生き抜く力を備えた人材の育成～

本学が、今後もステークホルダーから評価・支持を獲得し、「選ばれる大学」であり続けるため、環境変化も踏まえた教育改革を断行し、「これからの時代を生き抜く力（外国語運用能力、批判的思考力、キャリア・デザイン力等）」を備えた人材の育成を強化する。

- (1) 学部・学科・大学院の改編
- (2) 基礎演習の通年化及び内容の見直し
- (3) ゼミ・卒論の必修化
- (4) キャリア・デザイン力（自分のキャリアを自らデザインする力）の涵養

2. グローバル戦略

～グローバル・スタンダードを実感する機会の充実～

学生が、国際的な視点を養うとともに、国内外で起こっているさまざまな事象に目を向け、自分自身で課題を発見・探究・解決する能力を培うことができるよう、在学中にグローバル・スタンダードを実感する機会のさらなる充実を図る。

- (1) 国際センター（仮称）の設置
- (2) 外国人留学生の取り込み強化
- (3) 留学（送り出し）及び海外インターンシップの促進
- (4) 国際協定校の戦略的な開拓

3. ガバナンス改革

～権限の適切な委譲と責任の明確化～

学長が、本学の校務をつかさどるとともに本学教職員を統督するにあたり、円滑に職務を果たすことができるよう、権限及び責任の見直しをはじめとするガバナンス改革を行う。

- (1) 一つの管理運営機関としての意思決定の円滑化
- (2) 教学マネジメントの構築
- (3) 教員・職員・学生（教職学）協働体制の構築

< II. 経常的改善事項 >

1. 教育の質の保証・向上

学習者の多様化のさらなる進展も念頭に置き、教育内容について不断の見直しを行うとともに、多様な経歴を有する教員の登用やプロフェッショナル・ディベロップメントの推進等を通じた教育機能の強化、厳格な成績管理や学修状況の可視化等を通じた教育の質の保証・向上を目指す。

- (1) 教育内容の見直し
- (2) 教育機能の強化
- (3) 教育の質保証の促進

2. 学生支援のさらなる充実

～本学でしかできない学生支援とその環境整備～

入学から卒業まで、そして卒業後も、課外活動やキャリア教育・支援を通じて、本学在
学生・卒業生を応援し続ける。また、かかる本学ならではの学生支援を持続的に展開しう
る環境整備を行う。

- (1) 課外活動支援の強化
- (2) キャリア支援のさらなる充実

3. 学生募集活動のさらなる強化

学部・学科・大学院の改編や大学入学者選抜改革等を念頭に置くとともに、広報の原点
である「Face to Face」を大切に、マス媒体に頼らず、高校生やステークホルダーと出
会う機会を積極的に創出し、一人ひとりに直接声をかけ、共感の輪を広げていく。

- (1) 志願者の増加及び定員充足の維持
- (2) 入試制度改革による多様な人材の確保

4. 組織運営基盤の改善

教職員が「誇りと喜びと成長」を感じることができ、持てる力を十分に発揮するととも
に、さらに高めることができる環境の創設に向け、組織運営基盤の改善を図る。

- (1) 組織運営の改善
- (2) 教学・執務環境の維持・改善

5. 財務基盤のさらなる安定化

安定的な学生生徒等納付金の確保、補助金（競争的資金を含む）の獲得、収入源の多様
化、収支構造の改善等を通じて、財務基盤のさらなる安定化を図る。

- (1) 収入源の多様化と収支構造の改善
- (2) 産・官・学・地域連携の強化

(以上)